

家畜衛生広報



ながの

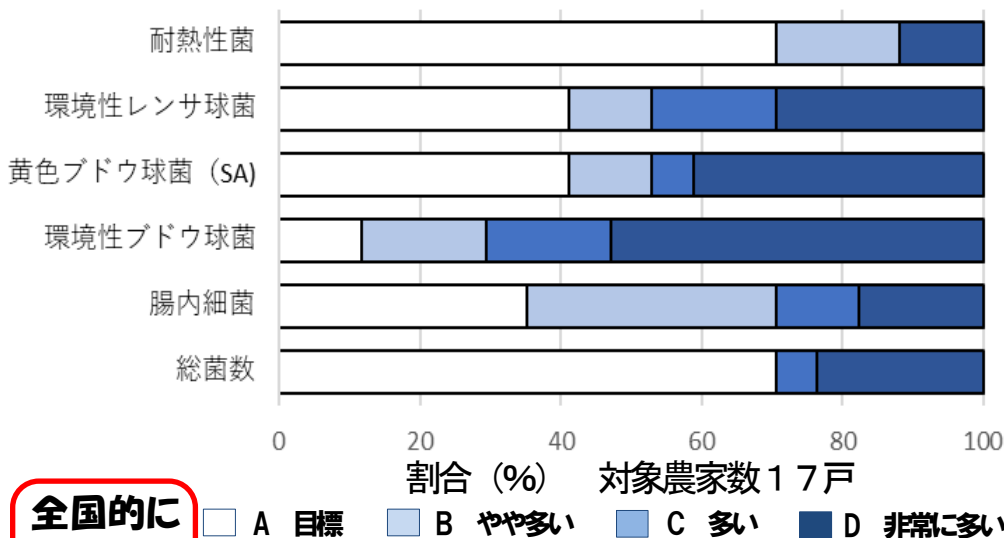
R7-6

令和7年(2025年) 7月 8日

長野家畜保健衛生所
北信家畜畜産物衛生指導協会
〒380-0944 長野市安茂里米村1993
Tel 026-226-0923 Fax. 026-227-2665
E-mail:nagakachiku@pref.nagano.lg.jp

令和7年度前期 バルク乳スクリーニング検査の集計結果

採材に御協力いただきありがとうございました。各農場にお送りしている結果とあわせてご確認ください。



無乳性連鎖球菌、BVD ウイルス及びマイコプラズマは全検体で検出されませんでした。

令和6年度前期と比較し、環境性レンサ球菌数及び腸内細菌数が多い農家が増えています。

個体乳の検査による SA 感染牛の摘発等、対策については当所にご相談ください。

導入牛のヨーネ病対策を実施しましょう

ヨーネ病は、病原菌(ヨーネ菌)に感染してから発症するまで半年～数年かかります。感染牛を導入してしまうと、知らないうちに農場内でヨーネ病が広がってしまうおそれがあります。

- ✓ ヨーネ病発生地域からの家畜導入は避けましょう
- ✓ ヨーネ病発生地域から導入する場合は、ヨーネ病陰性証明を確認しましょう
- ✓ 牛を導入したら、まずは隔離を行い、ヨーネ病検査を受けましょう
～導入や検査に関するお問い合わせは当所防疫課まで～

消毒は伝染病予防の第一歩 《農場を出入りする人・物は特に注意！》



こどもまんなか

みんなでつくろう！こども・子育てに優しい信州

